

【縦・横・斜め】

新学期が始まって1か月が過ぎました。いつもの年ならば、新しい環境にも慣れてきて学校生活を充実させていく時期となるわけですが、今年度は工事の関係で今月末(5月25日を予定)には教室を移転し、また少し環境が変わります。1年生は特別教室棟2階の中庭側(現音楽室)へ、2年生は同じく2階道路側(現PC室)へ、3年生は同じく1階の道路側(現ふれあい2)へ、それぞれ移動します。普通教室として使用するための黒板の張替え、エアコン設置等の施設準備は昨年度中に整え、4月からはスクールサポートスタッフのみなさんに各教室の清掃を丁寧にやっていただいて、移動に備えています。いよいよ小中一貫校の開校が迫ってきたことを実感します。

準備は工事のようなハード面だけではなく、教育活動のソフト面でも同時に進めています。来月には1年生の宿泊学習、2年生の職場体験、3年生の修学旅行があります。宿泊を伴う行事については、5年生の臨海学校から始まっているので、段階的に成長を実感できる活動になるように、小中の教員で話し合いを続けています。職場体験については、キャリア教育という視点で考えれば、小1から始まっていますし、小3の社会科では「働くこと」に関する単元もあり、中3の進路学習までひと続きの学習テーマととらえて、9年間をトータルで考えているところです。

授業以外のところでは、さまざまなシーンでの縦割り活動や合同行事についても検討を進めています。例えば、昨年度の運動会・体育大会を小中の担当者が一日中参観しました。小中それぞれの良さを生かしながら、合同実施によるプラスαが生まれるように、プログラムの調整作業に知恵を絞っています。

小規模校のデメリットは、横(同級生)の人数が限られているところです。それを補う手立てとして、縦(異学年)との関わりを増やすことが有効です。また、斜め(保護者・地域)の関係も生徒の社会性をはぐくむうえで重要なものとなります。ありがたいことに、南花台では地域のみなさんのサポートがとても強力です。上で述べたこと以外の場面でも、縦・横・斜めのつながりを学習活動や行事等の中にバランスよく配置して、小中一貫校ならではの強みとなるように、ここからが正念場と思って取り組んでまいります。



離任式

4月11日(火)昨年度末で南花台中学校を転勤された先生方がお別れの挨拶に来られました。2年生、3年生にとっては、大変お世話になった先生方ばかりでした。お別れするのが寂しかったですが、吉岡教頭先生・片岡先生・平井先生・高木先生・上野スクールカウンセラー。5名の先生方から一言ずつお言葉もいただき、とても温かい離任式となりました。先生方、本当にありがとうございました。

歓迎会&クラブ紹介

新入生の歓迎会がありました。生徒会から歓迎の言葉に続き、縦割りのチームを作ってみんなでイラスト伝言ゲーム!とても盛り上がりました。



続いてクラブ紹介とサークル紹介がありました。部活動やサークルに参加しよう!



地域の皆さんへの感謝

中庭には花植え隊の皆さんが植えて下さった、たくさんのきれいな花が咲いています。下足室前の廊下には地域の方が持ってきてくださった5月人形が飾られています。本当にいつもありがとうございます。



